

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

当院で2009年1月から2021年12月までに“免疫不全関連リンパ増殖性疾患”と診断された患者

### 【研究課題名】

“免疫不全関連リンパ増殖性疾患”の臨床病理像についての研究

### 【研究の目的・背景】

“免疫不全関連リンパ増殖性疾患”とは、原発性免疫不全、HIVウイルス感染症、臓器移植及び造血幹細胞移植後、自己免疫疾患などの免疫不全状態を背景として発症するリンパ増殖性疾患である。移植後免疫不全関連リンパ増殖性疾患や自己免疫性疾患などを背景としたリンパ増殖性疾患はいずれも、免疫抑制剤の減量及び投与中止により、病変が自然消退することがあると言われている。しかしながら、免疫抑制剤を減量及び中止しても改善せず化学療法を必要とする症例も見られ、どの症例で治療を要するかの判断が困難である。そこで、“免疫不全関連リンパ増殖性疾患”の症例を集積して、全生存期間や無増悪生存期間及び臨床的特徴を明らかにする。また、どのような場合に化学療法を必要とするか、そのリスク因子を同定することを本研究の目的とする。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2021年10月1日～2024年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。また、本研究に関わる記録・資料は、学会・学術論文等で研究結果を開示したのち、血液内科・山本豪のもと研究期間の終了後5年間保管後、個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

患者基本情報（年齢、性別、原疾患、採血結果、画像所見、病理診断、転帰など）

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 血液内科 山本 豪

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 梶 大介

電話 03-3588-1111(代表)